

評価単位 7 「人材育成業務」における評価の基準に関する論点について

○ 顕著な成果となる事象

記載案	議論のポイント
<p>以下のうち、2 項目を達成</p> <p>○連携大学院協定に基づく QST の研究者が客員教員等の委嘱を受けた大学数の過去 3 年の平均値からの 20%の増加（令和元年度 18 校）</p> <p>○QST リサーチアシスタントや実習生、連携大学院生の受け入れ数の過去 3 年の平均値からの 20%の増加（令和元年度 297 名）</p> <p>○QST リサーチアシスタント等の満足度 80%</p>	<p>・各項目や数値目標が「顕著な成果となる事象」として妥当であるか。</p> <p>・満足度の定義は？</p> <p>・「以下のうち、○項目を達成」というのは、適切か。</p> <p>・定性的な目標を記載すべきではないか。</p>
<p>以下のうち、3 項目を達成</p> <p>○連携大学院協定に基づく QST の研究者が客員教員等の委嘱を受けた大学数の過去 3 年の平均値からの 20%の増加</p> <p>○QST リサーチアシスタントや実習生、連携大学院生の受け入れ数の過去 3 年の平均値からの 20%の増加</p> <p>○QST リサーチアシスタント等の満足度 80%</p> <p>○QST リサーチアシスタント制度に対する「黎明的研究制度」採択件数 2 件</p>	
<p>以下のうち、4 項目を達成</p> <p>○連携大学院協定に基づく QST の研究者が客員教員等の委嘱を受けた大学数の過去 3 年の平均値からの 20%の増加</p> <p>○QST リサーチアシスタントや実習生、連携大学院生の受け入れ数の過去 3 年の平均値からの 20%の増加</p> <p>○QST リサーチアシスタント等の満足度 80%</p> <p>○QST リサーチアシスタント制度に対する「黎明的研究制度」採択件数 3 件</p> <p>○QST リサーチアシスタント等の大学での指導教官の満足度 80%</p>	

○ 特に顕著な成果となる事象

記載案	議論のポイント
<p>以下のうち、2 項目を達成</p> <p>○連携大学院協定に基づく QST の研究者が客員教員等の委嘱を受けた大学数の過去 3 年の平均値からの 40%の増加（令和元年度 18 校）</p> <p>○QST リサーチアシスタントや実習生、連携大学院生の受け入れ数</p>	<p>・各項目や数値目標が「顕著な成果となる事象」として妥当であるか。</p> <p>・満足度の定義は？</p> <p>・「以下のうち、○項目を達成」</p>

<p>の前年度からの 40%の増加（令和元年度 297 名） ○QST リサーチアシスタント等の満足度 90%</p> <p>以下のうち、3 項目を達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○連携大学院協定に基づく QST の研究者が客員教員等の委嘱を受けた大学数の過去 3 年の平均値からの 40%の増加 ○QST リサーチアシスタントや実習生、連携大学院生の受け入れ数の過去 3 年の平均値からの 40%の増加 ○QST リサーチアシスタント等の満足度 90% ○QST リサーチアシスタント制度に対する「黎明的研究制度」採択件数 4 件 <p>以下のうち、4 項目を達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○連携大学院協定に基づく QST の研究者が客員教員等の委嘱を受けた大学数の過去 3 年の平均値からの 40%の増加 ○QST リサーチアシスタントや実習生、連携大学院生の受け入れ数の過去 3 年の平均値からの 40%の増加 ○QST リサーチアシスタント等の満足度 90% ○QST リサーチアシスタント制度に対する「黎明的研究制度」採択件数 5 件 ○QST サマースクール生や QST リサーチアシスタント等の大学での指導教官の満足度 90% 	<p>というのは、適切か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定性的な目標を記載すべきではないか。
---	--